2013年2月1日
野村不動産ホールディングス株式会社
NREG東芝不動産株式会社

報道関係者　各位

「(仮称) 川崎中央倉庫建替えプロジェクト」に着手
～環境に配慮した「東芝グループ向けオーダーメイド型物流施設」を開発～

野村不動産グループのNREG東芝不動産株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長　山森一毅）は、神奈川県川崎市川崎区にて、東芝グループに対するCRE事業の一環として、東芝ロジスティクス株式会社（本社：川崎市川崎区　代表取締役社長　清水保弘）が使用する物流施設の建替え計画として進めております「(仮称) 川崎中央倉庫建替えプロジェクト」に着手いたしますので、お知らせします。

本計画は、東芝ロジスティクス株式会社が使用するオーダーメイド型物流施設の開発プロジェクトです。NREG 東芝不動産株式会社が当該土地を取得、テナントとなる東芝ロジスティクス株式会社の意向と賃貸物流施設として汎用性を兼ね備えた建築計画を立案の上、建物を新築します。

本物流施設は、川崎市川崎区池上新町三丁目に位置し、最寄りIC(大師/浜川崎IC、東扇島IC)及び、東京・川崎・横浜港へのアクセスに優れ、国内配送はもとより、輸出入にも適した立地条件を有します。

建物の特徴は、基準階梁下有効高：6.5m、接車バース：3面（66台：10t車想定）、床荷重（倉庫）：1.5t/㎡、防災対策として免震構造を採用するなど、優れた物流機能と事業継続性を確保した物流施設となっております。また環境への配慮として、東芝グループ各社と連携し①太陽光発電設備（250kW）②全館にLED照明を導入したほか、③敷地内の緑化面積率15%を確保し、建物環境総合性能評価システム「CASBEE川崎」でAランクを取得しました。

本計画は、「野村不動産グループ　中長期経営計画（-2022.3)」において積極化する物流施設開発の第一弾となります。NREG東芝不動産株式会社は、2008年12月に野村不動産グループに加わって以降、野村不動産グループのノウハウを活用し、CRE戦略を切り口に、東芝グループが保有する不動産の有効活用･開発･バリューアップといった事業を積極的に展開してまいりました。今後も、これまで培ってきたノウハウ・営業基盤をベースとし、野村不動産グループおよび東芝グループとの相互利益の拡大を図ってまいります。

以上

【(仮称) 川崎中央倉庫建替え計画　概要】

所在地	神奈川県川崎市川崎区池上新町三丁目1番3号
交通	JR「川崎」駅から約3.5km、首都高速神奈川1号線「大師IC」「浜川崎IC」約2.0km、首都高速湾岸線「東扇島IC」約6.0km
敷地面積	27,865.93㎡（約8,429坪）
延床面積（予定）	49,630.92㎡（約15,013坪）
構造・規模	RC＋S造、地上5階建、免震構造
設計・施工	鹿島建設株式会社
竣工（予定）	2014年（平成26年）3月

［本件に関するお問合せ先］

NREG 東芝不動産株式会社
総務部　鍵谷
TEL：03-3457-8808　FAX：03-3457-1721

【周辺地図】

【完成予想パース】